

八郎潟のマガン羽数(春期) 資料6

(加賀谷幸男氏・未発表データ)

調査年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年	2006年
調査月日	多雪寒冬	多雪寒冬	豪雪	丹頂越冬	丹頂越冬	豪雪	暖冬	異常豪雪
2月4日			鳥影無し	16,000	34,000		2/3 1,000	
2月6日	鳥影無し	鳥影無し	飛来初日		36,000			
2月7日			先遣 360					
2月8日	暴風雪	(オオヒシクイ戻る)					39,200	
2月9日			鳥影無し		46,800			
2月10日				40,000				
2月11日	鳥影無し	鳥影無し	鳥影無し		80,000			
2月12日							80,000	
2月13日			鳥影無し				90,000	
2月14日	鳥影無し	(シジューカラガン戻る)	再飛来				120,000	
2月15日	秋田通過1,000	鳥影無し	5,800					
2月16日	(ハクガン戻る)	(ハクガン戻る)	(小友結氷)	57,000				
2月17日	鳥影無し		52,000				100,000	
2月18日	少群秋田往復	鳥影無し	188,000	68,000		鳥影無し		
2月19日	(ヒシクイ4247)		115,000			飛来初日		飛来初日
2月20日	鳥影無し	鳥影無し	194,000	70,000	視不17,000	7,000	135,000	
2月21日	寒波続く	鳥影無し	198,000	115,000				
2月22日	(西マガン124)	飛来初日	214,000		視不60,000	8,000	138,000	25,000
2月23日	飛来無し	7,200 朝飛去	223,000	130,000		10,000	40,000	
2月24日	記録的暴風雪	再飛来 1,600	218,000	150,000		37,000	42,000	
2月25日		鳥影無し	212,000	(小友解氷)			25,000	
2月26日	鳥影無し	鳥影無し	215,000		92,000	60,000		45,000
2月27日	高温・晴天		227,000	120,000		無(氷上キツネ)	23,000	
2月28日	鳥影無し	鳥影無し	220,000	110,000				
2月29日	鳥影無し	(小友10,000)	無(氷上キツネ)
3月1日	飛来始まる	午前再飛来						
3月2日	風雪視界不良	霧	215,000				8,000	
3月3日	13,000	中	5割解氷				358	
3月4日	6,500	待	195,000	125,000	173,000			75,000
3月5日	118,000	機	視界不良	(小友95,000)			渡去済	70,000
3月6日	225,000	50,000	全面解氷		91,000	160,000		90,000
3月7日	258,000	53,000	183,000	62,000		(小友結氷中)		100,000
3月8日	(小友初遊65)	167,000	視界不良	42,000				
3月9日	260,000	193,000	118,000			175,000		
3月10日	270,000	235,000	(小友103,600)			(小友解氷)		120,000
3月11日	270,000	240,000						
3月12日		250,000	62,000		渡去済	120,000		105,000
3月13日		解氷はじまる	48,000					
3月14日		250,000		12,000				
3月15日	260,000		霧					
3月16日	解氷はじまる	240,000	炎			85,000		85,000
3月17日	210,000	235,000	待					
3月18日	160,000	220,000	機	渡去済		4,700		110,000
3月19日	105,000	全面解氷						
3月20日	85,000	180,000	44,000		(小友25,000)	渡去済		
3月21日		150,000	37,000					
3月22日	80,000	135,000	(小友100,000)					8,000
3月23日	(小友150,000)	110,000	4,200					
3月24日	(小友200,000)	視界不良						渡去済
3月25日	15,000	50,000	渡去済					
3月28日	渡去済	渡去済						

調査対象 春に繁殖地へ渡る途中、中継地として旧八郎潟周辺に集結する「北帰行マガン」のねぐら飛立ち羽数であり、「越冬個体群」はねぐらが別なので数に含んでいない。

調査地点 ねぐらは八郎潟調整池であり、観察場所は、大潟村にある「F2取水口」か、潟上市にある「飯塚排水機場」と「天王東排水機場」の、3地点のうちのいずれかである。

時の移動 調整池が結氷中でも氷上を主なねぐらとしますが、まれに餌場に留まることもある。能代市の「小友沼」の氷が解けだすと、そちらに移動がはじまり、羽数は減少する。